

**2016 Successful recanalization of transradial approach for external iliac artery chronic total occlusion with 4.5Fr Parent plus.**

症例は 93 歳女性。左足趾潰瘍を主訴に来院。造影 CT で両側腸骨動脈閉塞を認めた。以前の CT で左外腸骨動脈は開存しており、左外腸骨動脈から総大腿動脈の閉塞が下肢虚血増悪の原因と考え、治療を行う方針とした。認知症から術中および術後安静保持困難と思われ、左橈骨動脈アプローチで治療を行った。4,5Fr Parent Plus 117cm を左橈骨動脈から左総腸骨動脈まで挿入し手技を開始した。IVUS guided wiring や、Double lumen catheter を用いた pararell wire により antegrade に true lumen wiring に成功し、Ever Flex 8.0/120mm を留置した。橈骨動脈アプローチにより止血は容易で、術直後から安静解除が可能となった。術後止血にリスクが伴う患者においては治療選択枝となるため報告する。